

# 研究課題名新規分析法 PESI/MS/MS による急性薬物中毒の迅速診断システムの構築（英文課題名：Development of rapid diagnosis system for acute drug intoxication by PESI/MS/MS）に関する情報公開

## 1. 研究の対象

過去に当法医学教室で解剖を実施されたご遺体ならびに当研究の実施承認日～平成 32 年 3 月 31 日の間に当法医学教室で解剖を実施されたご遺体

## 2. 研究目的・方法

薬物の急性中毒等によって死亡した場合、その原因物質となる薬物を特定する必要があります。また、救急救命分野では、急性薬物中毒の患者さんが病院に運び込まれた際に、迅速に原因薬物を特定する必要があります。そこで本研究では、生命倫理委員会の承認を受けたうえ、法医中毒学的に重要と思われる睡眠薬、麻薬・覚せい剤、違法ドラッグ等を対象とした急性薬物中毒の迅速診断システムの構築を目的としています。研究機関は実施承認日から平成 32 年 3 月 31 日までの予定です。

本研究では、法医学教室で実施する司法解剖あるいは行政解剖の中で、急性薬物中毒死と判定された場合の試料を対象とし、解剖時に採取した血液および臓器試料（肝臓・心臓・脳・筋肉・脂肪組織）を使用します。採取した試料について、プローブエレクトロスプレーイオン化法（PESI）と呼ばれる新規のイオン化法と、タンデム型質量分析計（MS/MS）を組み合わせた PESI/MS/MS という分析手法を用いて、ヒト生体試料中の薬物および代謝物の分析を行います。また、結果の比較のために、従来使用されている液体クロマトグラフィー質量分析（LC/MS/MS）という分析装置での薬物分析も実施し、得られた結果の比較・照合を行います。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、法医学教室で実施する司法解剖あるいは行政解剖の中で、急性薬物中毒死と判定された場合の試料を対象とし、解剖時に採取した血液および臓器試料等（肝臓・心臓・脳・筋肉・脂肪組織）を使用します。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料が当該研究に用いられることについてご遺族の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 法医生命倫理学

財津 桂（研究責任者）

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2118

FAX 052-744-2121